

## 生徒の学びの姿に着目した学力向上の取り組み

### 1 実践内容

#### (1) 方策1 日常化する【質的授業改善】

- ①「与那原中授業スタンダードⅡ」と対応させた、与那原中独自の「授業プランシート」「学びの見取りシート」を活用し、日常的な授業改善への取組み。(1人1授業の実践)
- ②「生徒の学びの姿」を記入する項目を取り入れたプランシートによる授業改善への取組み。
- ③授業参観時は、「生徒の学びの姿」を見とれるよう「観察シート」を工夫し、授業後には「生徒へ質問」を行い、生徒に着目した授業参観を行えるようにした取組み。

**生徒の学びの姿を意識するプランシート**

50分授業の展開		生徒の学びの姿	学習の姿
開始前		授業に臨む姿勢 姿勢を整え、授業を受けようとしている	整 YELL (1分前着席/机上の整理・学習用品)
導入		ねらいをつかむ姿勢 色のもつ特徴を理解することで、人に与えるイメージを表現することができることをつかむ。 *今後のためて準備する。	・3分クッキー ・前回のプリントを見直しなが ・色のしくみをふりかえり、今 「現」することを伝える。  めあて：先生のイメージを

「生徒の学びの姿」を記述する項目を挿入

**「生徒の学びの姿」を見つけるための授業観察シート**

学びの姿の見取りを生かした「与那原中授業スタンダードⅡ」による授業改善を通して

与那原中(名前 )

※生徒を1名～3名にしぼり、学びや成長の姿を見つけたら記録して下さい。(例：グループ活動で友達から教えてもらい答えを記入していた「分かった!」という声も聞こえた。)

観察した生徒( )( ) ( )-番号や名前

導入 *教科書を用意し、目で見て、手がかりを*

「生徒の学びの姿」を見つけれられるよう、生徒を観察し、メモをとる

#### (2) 方策2 そろえる【組織的共通実践】

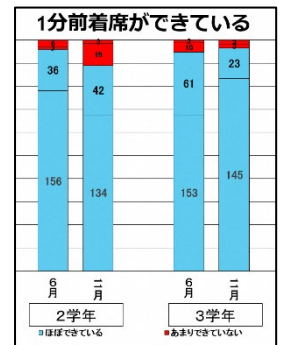
- ①「整 YELL (学習規律)」を合い言葉にした学習の基盤となる姿勢作りを組織的に行う。
  - ・「ととのエール」を合い言葉に、教師と生徒の共通認識のもと、学習規律の定着を図る。
  - ・定期的に「ととのエールアンケート」を実施し、定着状況や成果や課題を教師、生徒の双方が共通認識をもつ。
- ②「沖縄県生徒質問紙」で課題として挙げた「主体的に家庭学習に取り組む」態度を養うための組織的共通実践。
  - ・家庭学習の取組み方法を全学級で確認。
  - ・「家庭学習教科月間」を設定し、家庭学習の内容的な深化を図る。

### 家庭学習強化月間

～家庭学習のやり方を見直し、質を高めよう～

曜日	月	火	水	木	金
学習内容	社	英	数	国	理

※教科担任から出された課題を家庭学習ノートに取り組みましょう!  
※取り組み状況を点数化し、平均点が優秀なクラスは表彰します!



### 2 成果

- ・「生徒の学びの姿」に着目することによって、活動中心ではなく、指導事項を見据えた授業改善に取り組めるようになった。
- ・組織的な取組みを行うことで、学習規律や家庭学習に対する意識をそろえることができた。

### 3 課題

- ・授業改善を、生徒に着目することはできたが、指導と評価の一体化を目指した、評価方法の工夫改善にはまだ課題が残る。